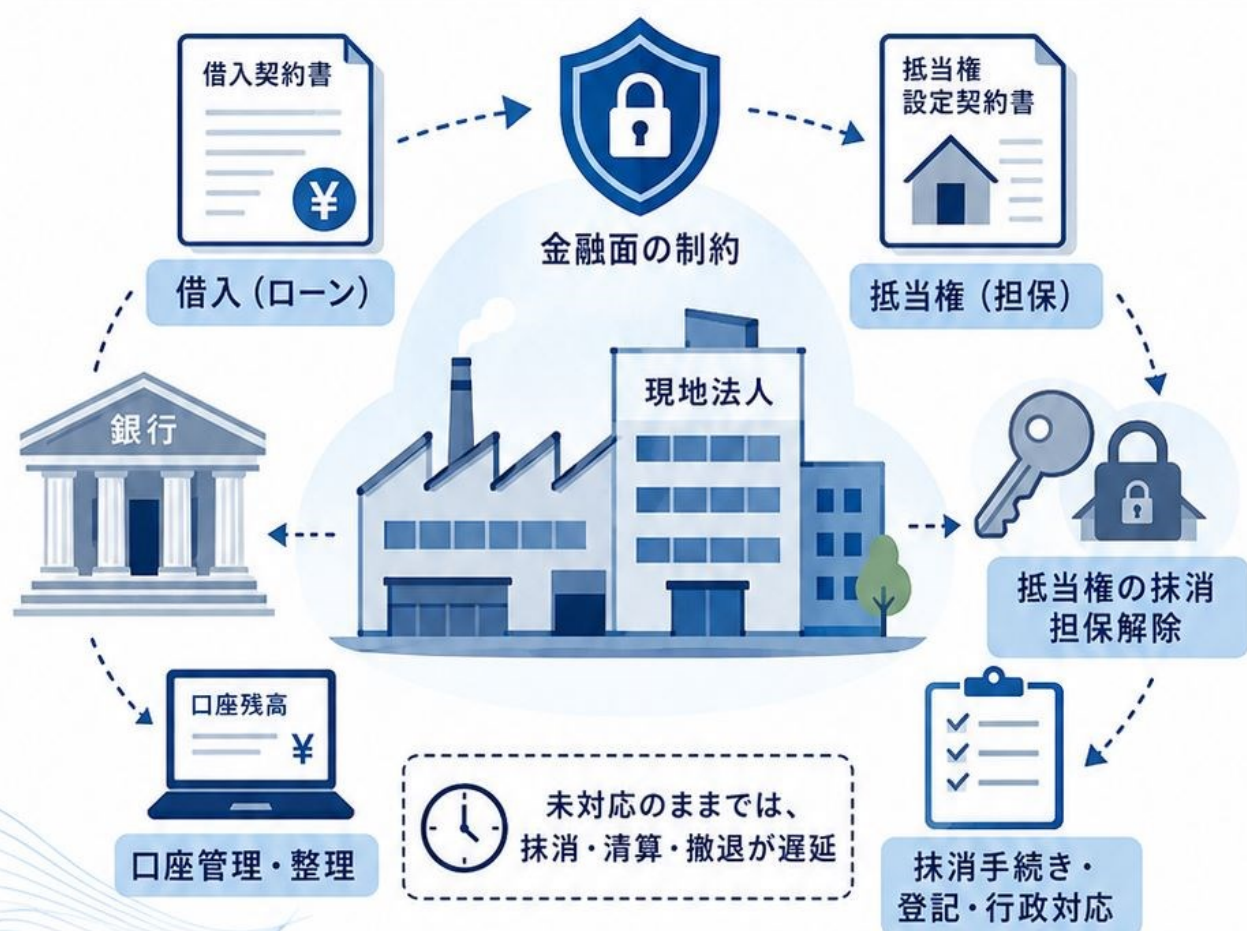


銀行・担保篇

— 借入・抵当権・口座整理 —

出口の前に、金融面の制約を確認する



借入確認



担保確認



口座整理



抹消準備



出口管理

この資料を読む症状

—— このような症状が出ていませんか？ ——

1

借入が残っている



2

土地使用权・建物・設備に
担保がついているか分からない



3

抵当権抹消に必要な資料が
見えていない



4

銀行口座・保証・預金の
整理が残りそう



5

設備売却や資産処分に
銀行同意が必要か不安



6

関連会社の担保解除が
自社に影響するか分からない



7

登記抹消まで時間がかかりそう



1つでも当てはまれば、この資料の確認対象です。

よくある誤解

— 銀行・担保対応 —



誤解1 借入を返済すれば 銀行対応は終わる

返済後も、担保解除・抵当権抹消・
口座整理が残ることがあります。



誤解2 抵当権は後で 抹消すればよい

抹消に必要な資料や銀行対応がそろわず、
登記抹消が長引くことがあります。



誤解3 銀行口座は 最後に閉じればよい

預金、印鑑、電子バンキング権限、
残高管理の整理が必要です。



誤解4 担保資料は銀行が 持っているから大丈夫

自社資料や関連会社との関係を含めて、
会社側でも確認が必要です。



借入を返しても、担保解除・抵当権抹消が
進まないと会社の出口は止まります。

放置すると起きる地雷

— 後から発覚すると、時間・条件・登記抹消に影響 —

1

抵当権解除が進まず、
登記抹消が長引く



2

抹消に必要な資料がそろわない



3

銀行同意が必要な資産処分を
先に進めてしまう



4

本社保証・親会社保証の
解除が残る



5

関連会社の担保解除が進まず、
自社の移転・登記抹消まで長引く



6

清算や持分譲渡の
実行時期に影響する



借入を返しても、担保解除・抵当権抹消が
進まないと会社の出口は止まります。

まず確認すること

1 借入・保証



借入残高、返済条件、
保証、親会社保証、
関連会社保証

2 担保設定対象



土地使用者、建物、設備、
預金、売掛債権など

3 銀行資料



借入契約、担保契約、
変更契約、返済予定、
銀行通知

4 口座・預金



口座残高、承認印、
電子バンキング権限、
未処理入出金

5 関連会社との関係



同一区画、グループ内担保、
相互保証、巻き添えの有無

6 登記・抹消資料



抵当権抹消、解除証明、
必要書類、登記抹消への影響



自社名義だけでなく、関連会社や同一区画の担保関係も確認が必要です。

抹消前に確認する順番

1



借入・保証を確認する



2



担保設定の有無を確認する



3



抵当権・質権・保証の
解除条件を確認する



4



抹消に必要な資料を確認する



5



登記抹消への影響を確認する

担保解除は、清算や登記抹消の最後に
残ることがあります。

早い段階で銀行・登記資料・解除条件を
確認しておくことが重要です。



実務チェックリスト

— 銀行・担保対応 —

- ☐ 借入残高、返済条件を確認したか
- ☐ 親会社保証・関連会社保証の有無を確認したか
- ☐ 土地使用权、建物、設備、預金などの担保設定を確認したか
- ☐ 抵当権・質権の解除条件を確認したか
- ☐ 抹消に必要な銀行資料・登記資料を確認したか
- ☐ 設備売却や資産処分に銀行同意が必要か確認したか
- ☐ 銀行口座、預金、承認印、電子バンキング権限を整理したか
- ☐ 関連会社の担保が自社に影響しないか確認したか
- ☐ 登記抹消の前提条件を確認したか
- ☐ 解除・抹消に時間がかかる前提で計画しているか

☐ が多いほど、銀行・担保対応の再確認が必要です。

まとめ・関連資料・免責

1 まとめ



銀行・担保対応は、借入の返済だけで終わるものではありません。担保解除、抵当権抹消、口座整理、関連会社との関係まで確認しないと、清算、持分譲渡、登記抹消が長引くことがあります。出口の前に、金融面の制約を整理しておくことが重要です。

2 関連資料



リスク診断票



税務清算篇



持分譲渡・
会社売却篇



環境リスク篇



支援内容

3 免責



本資料は、中国現地法人の再編・整理に関する一般的な実務上の注意点を整理したものです。個別案件の法務・税務・銀行・担保・登記判断については、弁護士、会計士、その他専門家にご確認ください。